

取付取扱説明書 Installation diagram

マッドガード 185サーフ
(フロント/リヤ共通説明書)

●安全上のご注意 取り扱いを誤った場合、人が死亡・重傷を負う恐れがある内容を示しています。

警告 ●本製品がタイヤやショック、マフラー等に接触していると摩擦や高熱で火災の原因となります。又、地面とのクリアランスも十分にとらないと事故の原因となります。

警告 ●取付完了後、ビス、ナット等がきちんと締まっているか確認してください。●ワイヤーロープは、しっかりと取り付けてください。締付け不足によりワイヤーが外れるとバンパーの破損や事故の原因となります。

注意 ●走行前には、必ず各部の取付や締付を確認しゆるんでいたら再度締め直してください。●本体が汚れた場合は中性洗剤を含ませたやわらかいスポンジ等で軽くたたくように水洗いしてください。スポンジや布等で強くこすると印刷部分がはがれたり、薄くなりますので絶対にしないでください。●パーツクリーナー、シンナー等の有機溶剤は、素材を傷めますので使用しないでください。

●付属部品の内容 最初に付属部品の有無の確認を行なってください。

フロント 付属部品 ●本体(2枚) ●押さえ板(2枚) ●ステー(2個) ●黒タッピングビス(4本) ●黒ビス(6本) ●黒ワッシャー(10個) ●黒ナット(6個) ●ワイヤーロープ(2本) ●アルミかしめ(2個) ●ジョイント金具(2個) ●ワイヤー端子(2個) ●吊り金具(2枚) ●吊り金具用ビスセット(1袋※)

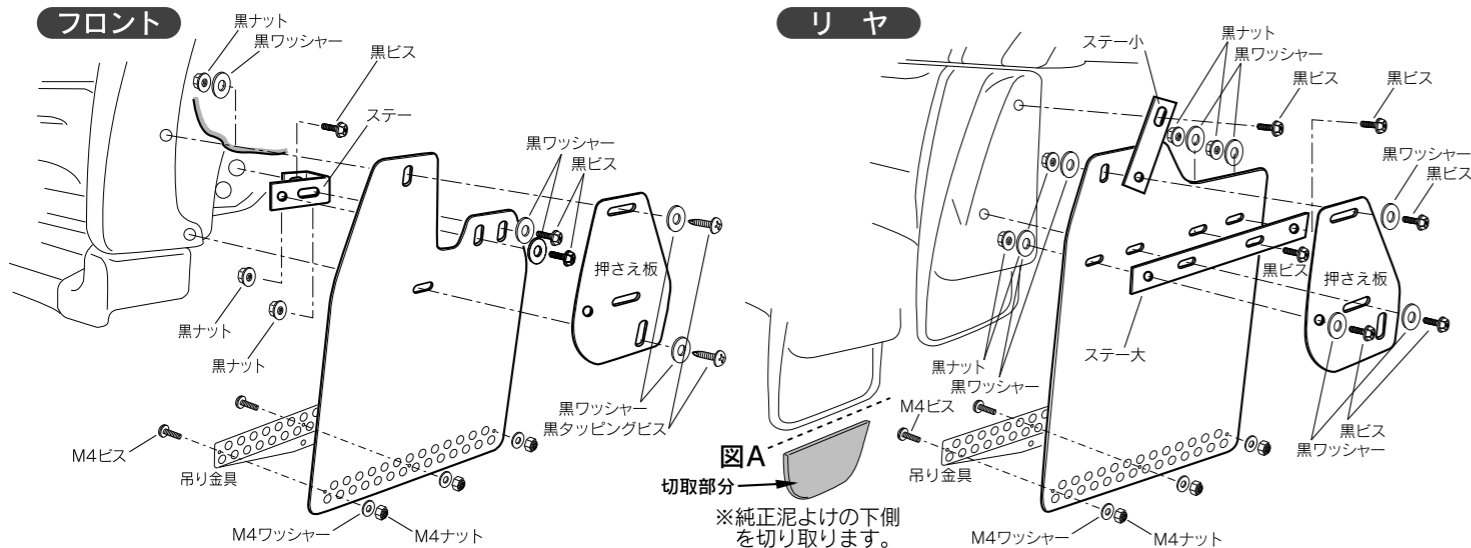
リヤ 付属部品 ●本体(2枚) ●押さえ板(2枚) ●ステー大(2個) ●ステー小(2個) ●黒ビス(12本) ●黒ワッシャー(14個) ●黒ナット(8個) ●ワイヤーロープ(2本) ●アルミかしめ(2個) ●ジョイント金具(2個) ●ワイヤー端子(2個) ●吊り金具(2枚) ●吊り金具用ビスセット(1袋※)

※吊り金具用ビスセットの内容は、ステンレスのM4ビス(6本) / M4ワッシャー(6個) / M4ナット(6個)です。

取り付けに必要な工具 ●十字ドライバー ●プライヤー ●六角スパナ(7~12ミリ) ●圧着ペンチ等

●マッドガードの取付方法

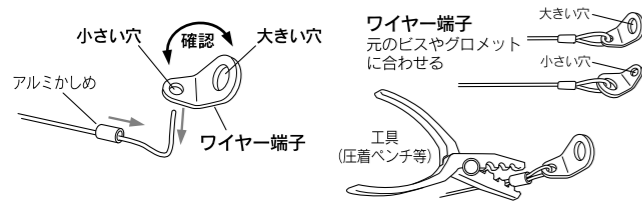
- 1: 最初に、マッドガード本体やステーの取付位置にあたる、純正のビスを取り外します。
- 2: フロントに付属のステーを取り付けます。押さえ板は、ホイールアーチのカーブに合わせて緩やかに曲げて置き、マッドガード本体へ図のように当て、付属のビス/ワッシャー/ナットで取り付けます。
- 3: リヤは、純正泥よけの下側に付いているフラップ(図A)切取部分を切り取ってください。マッドガード本体は付属のステー(大)とステー(小)、押さえ板を仮組してから車側に合わせます。車側への取付位置が決まったら、仮組した部分を締め直し、本体を取り付けてください。
- 4: マッドガード本体下端に吊り金具を取り付けます。図の様に、付属の吊り金具用ビスセット(M4ステンレスビス/ワッシャー/ナット)で片側3か所を取り付けます。



●ワイヤーロープの取付方法

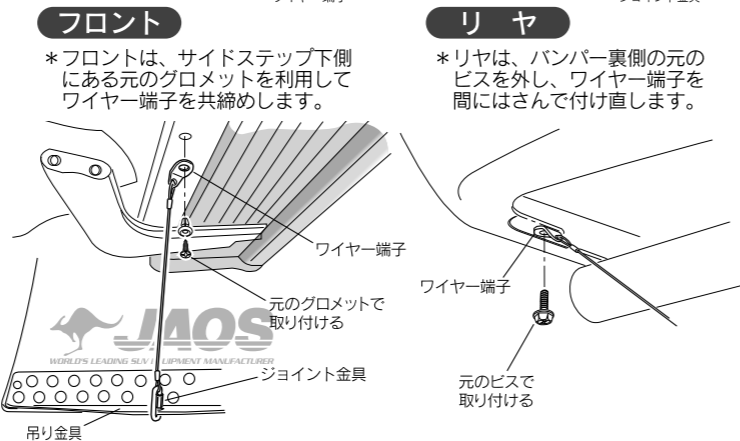
- 1: マッドガード本体を好みの角度まで引っ張り、ワイヤーロープの長さを決めます。(参考ワイヤー長、フロント: 約32cm、リヤ: 約42cm)
- 2: ワイヤー端子に取り付ける分の長さを考慮にいれワイヤーカッター等で余分を切ります。
- 3: 付属のアルミかしめとワイヤー端子に、ワイヤーロープを通し図のように工具(圧着ペンチ等)でしっかりかしめてください。

注意 ワイヤー端子には、大きい穴と小さい穴があります。必ず、取り付ける車体側の元のビスやグロメットの大きさを確認してからワイヤーロープをかしめてください。



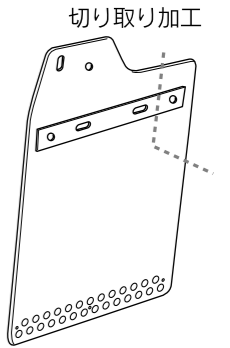
- 4: 図のように車体底面にワイヤー端子を取り付けます。ジョイント金具側を吊り金具に取り付けて完成です。※取付完了後、図に示すジョイント金具が走行中緩まないようにプライヤー等でしっかり締付けてください。

注意 マイナーチェンジ以降の一部車両で図の位置に元のグロメットやネジがない場合、市販のタッピングビス等でワイヤー端子を取り付けてください。



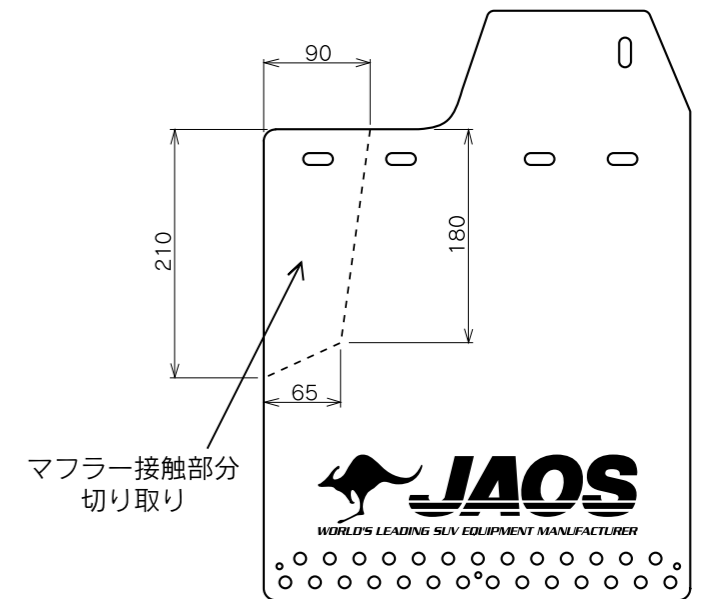
マフラー接触部分 切り取り

←切り取り線 (実物大)

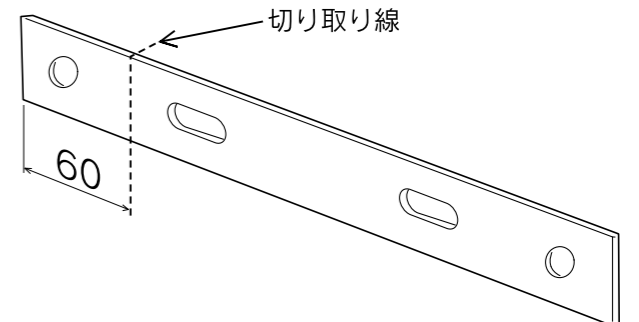


●マッドガード切り取り型紙

平成10年9月～以降の一部車両でマッドガードがマフラーに接触する場合があります。マフラーがマッドガード本体とステーに当たる場合、加工が必要です。図を参考にして、型紙に合わせ切り取ります。



●付属のステーも下図の寸法で加工が必要です。



※注意: 必ずマフラーに触れる部分を確認しながらカットしてください。